

# 【事例】大網白里市デジタル博物館（大網白里市）【0：要旨】

## 施設を持たず、インターネット上で常設展示を行う本格的デジタル博物館

### 背景・目的

- 大網白里市は、人口48,000人ほどの自治体で、博物館や美術館などの文化施設を有していない。
- 以前より市民から博物館設置の要望があり、複数回設置が計画されたが、**施設用地・費用面の課題から検討が頓挫**していた。
- そこで、用地・費用面の課題を抑えながら、考古資料や美術品に市民に公開する機会を提供できるよう、**インターネットを活用したデジタル博物館を設置**する検討を始めた。

### 取組概要



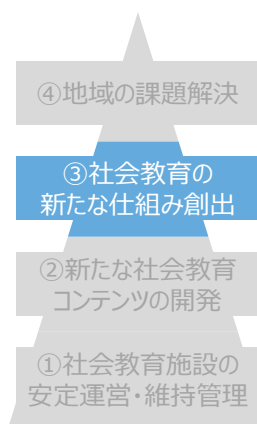
出所) 大網白里市デジタル博物館

- デジタル博物館**  
市に所縁のある考古資料や美術品等を閲覧できるインターネット上の博物館。アーカイブ資料は、テーマ別にキュレーションされて公開されている。
- デジタル博物館を活用したイベント**  
小学生向けの出前授業や市民向けの出前講座を実施。

### 事業経過

- H23 市の第5次総合計画にて、インターネットを活用したデジタル博物館づくりを推進することに言及
- H28 図書館振興財団「提案型助成事業」採択
- H30 「大網白里市デジタル博物館」オープン
- R4 クラウドファンディングを実施  
子ども向けページ「子ども考古学教室」の公開  
出前授業を実施
- R6 登録博物館に認定  
施設を持たない博物館では日本初の事例

### 成果・効果



- 地域の貴重資料等を閲覧する機会の創出**  
これまで文化施設がないために一般公開できなかった貴重資料等を、オンライン上でいつでもどこでも閲覧できるようになった。  
R5年度は、月平均21,000アクセスを獲得。
- 博物館設置にかかる負担の抑制**  
リアルな博物館の設置と比較して、施設用地、費用、人員などの負担を抑えながら博物館の設置を実現。

# 【事例】大網白里市デジタル博物館（大網白里市）【1：デジタルサービス詳細】

## 大網白里市デジタル博物館

- 市に所縁のある考古資料や美術品等を閲覧できるインターネット上の博物館。
- デジタルアーカイブ化された資料は、テーマ別にキュレーションされて公開されている。

### 博物館のページ



### テーマ別のページ

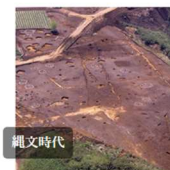
#### 遺跡が語る原始古代の大網白里

資料一覧

大網白里市は西部に千葉市の土気地区につながる台地・丘陵部が広がり、その東に縄文時代早期から堆積を続けた砂丘列が広がっています。市の中央部から東部を占める九十九里平野の砂丘列上の遺跡については、昭和20年代以降、九十九里平野の形成過程を解明するために研究が進められ、その中で香掛貝塚や上貝塚、そして南飯塚遺跡などが古くから知られてきました。

また、西部の台地上には標高80mから90mの下総台地が広がっています。この地域は住宅地やゴルフ場の造成に先立ち、大網山田台遺跡群、砂田遺跡群、瑞穂横穴群、金谷郷遺跡群などで大規模な発掘調査が行われました。こうした多数の遺跡の調査結果から、本市周辺の古代の様相が次第に明らかになっていきます。

[年表を見る](#)

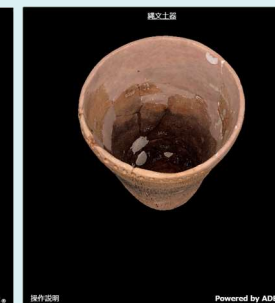
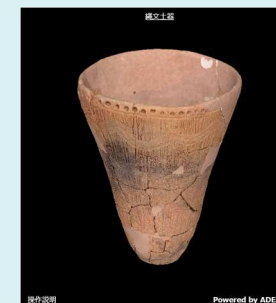


[大網山田台遺跡群について](#)

[マリンのおすすめ資料](#)



土器などの立体物は、3Dでアーカイブ化されているものもあり、角度を自由自在に変えながら閲覧できる



# 【事例】大網白里市デジタル博物館（大網白里市）【2：実現のポイント】

## 取組における課題と対応策

	課題	対応策
導入時	デジタル博物館の開設に向けた体制・人手不足への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員経験者の臨時職員を採用。資料のデジタルデータ化や解説文の執筆を分担。</li> <li>デジタル関連の知識は、庁内の情報化担当課と連携して補完。</li> </ul>
	デジタル博物館に掲載するコンテンツの収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が所有する資料に加えて、市外の文化施設にも所蔵資料のアーカイブ化・掲載への協力を依頼。</li> </ul>
導入後	デジタル博物館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向けコンテンツの追加・学校での出前授業の実施。</li> <li>市民向けの出前講座の実施。デジタル博物館の使い方の紹介と掲載資料の実物を見られるもの</li> </ul>

## 活用した支援

- H28年度・R1年度：公益財団法人図書館振興財団「提案型助成事業」
- R1年度：宝くじ社会貢献広報事業
- R4年度：クラウドファンディング型ふるさと納税「デジタル博物館×小学校教育 考古資料の教材化プロジェクト」

## 取組の成果・効果

- 地域の貴重資料等を閲覧する機会の創出**

これまで文化施設がないために一般公開できなかった貴重資料等を、オンライン上でいつでもどこでも閲覧できるようになった。

小学校での社会科や地域学習の授業で、地域内で出土した土器の3D画像を閲覧できるなど、より深い学習の機会を提供できるようになった。

デジタル博物館へのアクセス数は、R5年度の月平均で21,000アクセスを獲得。
- 博物館設置にかかる負担の抑制**

リアルな博物館の設置と比較して、施設用地、費用、人員などの負担を抑えながら博物館の設置を実現。
- 場所の制限を受けないデジタルならではのキュレーション**

大網白里市に関連する資料で、市外の文化施設に所蔵されているものも、デジタル博物館の展示品としてキュレーション。

## 今後の展望

- 資料の商業、観光業での活用**

資料画像をお土産品等に活用することを検討中
- 大学などと連携した取組**

近隣の大学と連携した企画展や新しいコンテンツの開発
- 掲載コンテンツの分野拡大**

現在掲載している歴史、美術、等の分野に加えて、自然科学分野などに関するコンテンツも掲載できると好ましい